

令和七年度 一般入学試験Ⅱ期

国語 (解答はすべて解答用紙に記入すること)

埼玉医科大学附属総合医療センター看護専門学校

受験番号
氏名

無断転載・複製を禁ず

国語 （解答はすべて解答用紙に記入すること）

埼玉医科大学附属総合医療センター看護専門学校

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①外国人に「あなた方のおもてなしの精神に（a）カンメイを受けた」といわれるのはうれしいことです。しかし「われわれはおもてなしの精神をもっている」などと胸をはって宣伝するとすると、いささか辟易とします。（1）「おもてなしのころ」は声を大にしていうものではありません。

②もちろん東京オリンピック招致のプレゼンテーションを批判しているのではなく、これは一種の政治的なショウであり自己宣伝ですから、それはそれでかまいません。（A）、（2）何やらその後、商店街へ行っても地方都市へ行っても、テレビを見ていても、やたら「おもてなし」が目につくのもまた困ったものです。

③考えてみれば、この違和感にはそれなりの理由があり、その理由は実は日本文化を論じる場合に無視できない何かを含んでいるのではないだろうか。確かに、「おもてなし」には、食事のふるまいから贈答や飾り立てまでモノの提供という面はあります。しかしこの場合も、モノのふるまいが大事なのではなく、それによって、ここを通じあうことが大事なのです。大切なのは、こころの働きなのです。だからこれは黙々と実践するものであって、意志が表に現れるようではいけない。本当は、声をあげて「おもてなし」宣言をするなど「おもてなし」からもっとも隔たっているといわざるをえません。（3）「おもてなし」と聞いて、「そうか、表がないのか、裏ばかりか」などと皮肉っていた人がいましたが、一説では、「おもてなし」の語源のひとつは、「表も裏もない」ということだそうで、「表も裏もないまっ正直で純粋な気持ち」ということなのです。わざわざこゝとあげするようなものではないのです。

④これは「おもてなし」に限らず、日本文化の様々な局面にまで根を張っていて、われわれは、しばしば「こころから……する」といったようなことをいう。このこころは、決して表に現わすのではなく、（B）、私を消し去って相手に寄り添うのです。こうなるとこれは英語の「ホスピタリティ」とは少し違って、「ホスピタリティ」は「ホスピタル（病院）」という言葉と類縁性をもっていることからわかるように、もともと、旅人や異国人を（b）カイボウしたり、休息を与えたりすることだった。だから、それはあくまで（X）が与えるのです。しかも休息や快適さという（疑似的な）モノを提供するのです。それはキリスト教文化のなかで育った奉仕やボランティアに近いものといってよいでしょう。ここには、私を消して相手につくとか、裏表のないまごころという（c）カンネンは見られません。（中略）

⑤ところがまさにそのゆえにこそ、今日、日本の精神や日本文化はクスクスに崩され、ズタズタに引き裂かれてゆくともいえるのではないだろうか。なぜなら今日のグローバルな世界は、私を捨てる、ことあげをしない直きこころをもつなどという価値とはまったく（d）タイショウ的で正反対の方向にまっしぐらに進んでいるからです。「秘すれば（①）」や「清明心」や「捨ててこそ浮かぶ（②）」などといっては、とてもではないですがこのグローバル文明を生きることができません。商業主義に（③）として自己宣伝し、時には悪賢く他人を蹴落とさなければ生きてゆけない社会になってしまいました。もともと世俗とはそうした社会ではあったのでしょうか。今日の新自由主義がうみだしたグローバルな競争社会は、それとことん押し進めてしまったのです。何ともおぞましい自己宣伝と自己主張の社会になってしまいました。

⑥こうしてオリンピック招致以来の「おもてなし」ブームは、グローバルな競争社会の成長戦略などというおおよそ清明心も正直心も吹っ飛んでしまう商業主義と手をたずさえることになってしまったのです。政府も東京都も財界も、そして商店街やホテルも、「おもてなし」と「和食」のおかげで、どれぐらいの観光客が世界から集まり、どのぐらいの金を落としてくれるかというさもししい金勘定に神経を集中することになってしまいました。損得勘定や懐具合は誰でも気にはなるものですが、それを国家の

一大事業として公認してしまったのです。(C)「おもてなし」を使っています。

[7] 実は、ここにはたいへんに重要な問題があるのです。それは、(4) 果たしてこのグローバルな競争的資本主義のなかで、日本的文化や日本の精神を立ち上げることは可能なのか、ということです。グローバル資本主義というだけではありません。いまやどこぞの専門家と称する人がテレビのコメンテーターをつとめて即席の有名人になってしまい、誰もがインターネットでつぶやいて他人の悪口を叫び、少しでも被害者になれば、声高に叫びたてて加害者を(e) 糾弾する時代です。人を押しのけて顔を売る人と顔を隠して他人を糾弾する人が跋扈するというのが今日の風潮というものです。

[8] これほど、本来の「おもてなし」精神から遠いものはないでしょう。これでは、確かに、「お・も・て・な・し」どころか「ろ・く・で・な・し」の時代です。しかし問題はもっと根が深く、そもそも、言葉にだして自己宣伝しない、私を大声で持ち上げない、できるだけ他者に寄り添う、などという日本文化を世界に向けて打ち出すことができるのでしょうか。これが果たして(5) グローバル競争やネット文化と適合できるのでしょうか。それは根本的な矛盾ではないのでしょうか。そして、グローバルイズムやネットを支える市場競争原理は、どうしても自我の拡張、自己主張から利益や権利をめぐる争いをもたらします。その行き着くところはほぼ必然的に「帝国主義」ということになるでしょう。

(佐伯啓思『西田幾多郎』より一部改変)

問一 傍線部(a) (e)の漢字はその読みをひらがなで答え、カタカナは漢字にせよ。

問二 空欄A・B・Cに入る適当と思われるものはそれぞれどれか、次の中から選んで記号で答えよ。

ア つまり イ しかし ウ たとえば エ むしろ オ しかも

問三 空欄①・②・③に入る適当と思われるものはそれぞれどれか、次の中から選んで記号で答えよ。

① (ア愛)	イ花	ウ値	エ富
② (ア身)	イ瀬	ウ沖	エ縁
③ (ア指)	イ影	ウ棹	エ水

問四 空欄Xに入る一字の表現を本文より書き抜け。

問五 傍線部(1)『「おもてなしのこころ」は声を大にしていうものではありません。』とあるが、何故か。次の説明文の空欄に入る表現を、本文の[3]段落から6字で書き抜け。

『「おもてなし」にとつては、() ()こそが重要であり、それは声を大にしていうものではないから。』

問六 傍線部(2)「何やらその後、商店街へ行っても地方都市へ行っても、テレビを見ている、やたら「おもてなし」が目につく」とあるが、その原因は、「おもてなし」と何が結び付いていると筆者は考えているか。本文より4字で示せ。

問七 傍線部(3)『「おもてなし」と聞いて、「そうか、表がないのか、裏ばかりか」などと皮肉っていた」とあるが、同じような皮肉の込められた一文を本文より書き抜き、その初めの3字で示せ。

無断転載・複製を禁ず

問八 傍線部(4)「果たしてこのグローバルな競争的資本主義のなかで、日本的文化や日本精神を立ち上げることが可能なのか」とあるが、それについての筆者の考えを示している6字の表現を本文より示せ。

問九 傍線部(5)「グローバル競争やネット文化」とあるが、その特徴と筆者が考えている9字の表現を本文5段落より示せ。

問十 本文の内容と最も合致するものはどれか、次の中から選んで記号で答えよ。

ア 声をあげて「おもてなし」宣言をするは、「おもてなし」には、食事のふるまいなどモノの提供という面があるからだ。

イ「ホスピタリティ」が、キリスト教文化の奉仕やボランティアに近いのは、根本に共通する自我の拡張があるからだ。ウ 損得勘定や懐具合を国家の一大事業として公認したのは、自己宣伝と自己主張が今日の社会では重要であるからだ。エ 本文に「おぞましい」「さもしい」という表現があるのは、グローバルな競争資本主義への筆者の批判があるからだ。

問十一 この文章の章題は、『()』とは何か』であるが、空欄に入る4字の適語を文中より示せ。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1 (A)の『リア王』は老いに悩む人の物語である。「わしは今や、統治の大権も、国土の(a)リヨウユウも、政務の(b)ハンザツも脱ぎ捨てるつもりだ」。年老いた王はそう(1)引退を宣言し、3人の娘に財産を分け与えようとする。

2 しかし、思い望んだ(c)安寧な老後生活はかなわない。いつの世も、誰にとっても、(2)老いをいかに生きるかは(d)ナンダイのようだ。いったい王は、どうすればよかったのだろうか。

3 「もしも、リア王にアドバイスするならば、やめろと(B)をたたかれるまで、やれ、ですな」。東京大学教授の小林武彦さんは笑顔で言った。老化の研究が専門で『なぜヒトだけが老いるのか』などの著書がある生物学者だ。

4 そもそも老後は、野生の動物にはない。進化の過程で、生物としてのヒトが手にした特権だという。なるほど、どうしてでしょう。「それはもう明らかに、若い世代を支えるために、(3)シニアの存在が重要だったからです」。

5 もちろん、誰もが元気に活躍を続けられるわけではない。病気もあるし、やりすぎれば「老害」と嫌われる。でも、だからといって、隠居を急ぐ必要はあるまい。できる範囲でいい。仕事場で、近所で、家庭で、お年寄りが誰かのためになっている社会であってこそ、若者たちも未来に希望を持てるのでは、と小林さんは説く。

6 「いかに(4)人らしく生きるかは、(C)をどう過ごすかにかかっていると思います」。ヒトは老いて、人になる、か。自らのこれからに思いを(e)メグラせ、しばし(D)を組む。

問一 傍線部(a)～(e)の漢字はその読みをひらがなで答え、カタカナは漢字にせよ。

問二 空欄Aに入る作家を次の中から選んで記号で答えよ。

ア トルストイ イ ドストエフスキー ウ シラー エ シェイクスピア

問三 空欄B・Dに入る適語を次の中から選んで、それぞれ記号で答えよ。

ア 頭 イ 首 ウ 肩 エ 腕 オ 手 カ 口 キ 足

